

# 令和7年度 第78回近畿高等学校サッカー選手権大会 実施要項

1 大会名	第78回近畿高等学校サッカー選手権大会
2 主 催	近畿高等学校体育連盟・兵庫県教育委員会・(一社)関西サッカー協会
3 主 管	近畿高等学校体育連盟サッカー専門部・兵庫県高等学校体育連盟サッカー専門部・(一社)兵庫県サッカー協会
4 期 日	令和8年2月14日(土)、15日(日)、22日(日)
5 会 場	三木総合防災公園陸上・第2陸上競技場・第1球技場・第2球技場(天然芝)
6 参 加 校	【男子】大阪府(4校)、兵庫県(3校)、京都府(2校)、滋賀県(2校) 奈良県(2校)、和歌山県(2校)、開催府県(1校) 計16校
7 代表者会議	実施しない
8 開会式	実施しない
9 閉会式	令和8年2月22日(月) 決勝戦終了後 三木総合防災公園陸上競技場
10 参加資格	(1) 令和7年度(公財)日本サッカー協会への登録を完了し、かつ各府県高等学校体育連盟に加盟する単独チームであること。ただし、以下の場合に限り、複数校合同チームの大会参加を認める。(ア)部員不足に伴う合同チーム(府県高等学校体育連盟会長により予選会から参加が認められて場合)(イ)統廃合対象校による合同チーム(統廃合完了前の2年間に限る。)(準加盟校の参加可。) (2) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。 (3) 選手は2007年4月2日以降に生まれた者とする。ただし、出場は1学年・2学年所属時とし、同一学年での出場は1回限りとする。学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の場合は、同一競技2回限りとする。 (4) 転校後6ヶ月未満の生徒は参加を認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、各府県高体連会長の許可があればこの限りではない。 (5) 転校の有無にかかわらず、他の連盟から高体連加盟チームへ移籍する場合は(4)に準じるものとする。ただし、この規定の適用は当該年度内に限るものとする。 (6) 各府県において、予選またはその他の方法により、上位校より順に選出する。 (7) 登録選手は、(公財)日本サッカー協会発行の選手証(写真貼付)を持参すること。ただし、電子登録証(写真が登録されたもの)が確認できる場合は出場を認めるものとする。 (8) 引率責任者は学校長の認める当該校の職員または部活動指導員とし、大会中の選手、生徒の全ての行動に責任をもつものとする。 (9) 参加する生徒はあらかじめ健康診断を受け、在学する校長の承認を必要とする。
11 競技規定	(1) (公財)日本サッカー協会「競技規則2025/2026」による。 (2) 大会登録選手は30名以内とする。 (3) 競技開始70分前にメンバー用紙に必要事項(スターティングメンバー11名・交代要員9名・スタッフ6名)を記入し、試合会場本部に選手証(写真貼付)とともに提出する。交代要員はその中から6名まで交代できる。交代回数は3回までとする(1回に複数人を交代することは可能)。HTでの選手交代は交代回数に含まない。なお決勝戦において延長戦に入った場合、さらに1名かつ1回の交代を行うことができる(直前の70分と合わせて最大7名かつ4回の交代が可能となる)。延長戦に入る前や延長戦のHTでの選手交代は回数に含まない。 (4) 1試合において、各チーム最大1人の「脳振盪による交代(再出場なし)」を適用する。その場合は、「通常の交代」の人数および回数の制限とは別に取り扱われる。「脳振盪による交代」を使用した場合は、相手チームは(脳振盪に限らず)、「追加の交代要員」を使うことができる。 (5) 退場を命じられた競技者は本大会の次の試合の出場を停止し、それ以降の措置については大会規律委員会で決定する。本大会終了時点で未消化の出場停止処分(警告の累積による場合を除く)は、直近の公式試合で消化すること。 (6) 本大会中2度の警告を受けた競技者は、本大会の次の1試合の出場を停止する。 (7) 競技開始70分前に試合会場本部にて会場責任者・審判員・出場チーム(原則として監督)によるマッチコーディネーションミーティングを実施する。出場チームは、メンバー提出用紙・選手証・ユニフォーム(正副)を持参すること。 (8) 留学生については登録を4名以内とし、そのうち2名が出場できる。 (9) 全試合テクニカルエリアを設ける。テクニカルエリアからの戦術的指示は、その都度、1名のみが伝えることができる。 (10) マルチボールシステムを採用する(試合球を合わせて5~7球)。
12 競技方法	(1) トーナメント方式とする。3位決定戦を実施する。 (2) 試合時間は70分とし、勝敗の決しないときはPK戦(ペナルティーシュートアウト)により次回戦への出場を決定する(3位決定戦においては3位を決定する)。決勝戦においては、20分の延長を行い、なお勝敗の決しない場合はPK戦(ペナルティーシュートアウト)により優勝校を決定する。ハーフタイムのインターバルは10分とする。
13 表彰	(1) 1位 優勝旗および優勝カップ・会長杯・表彰状授与 2位 準優勝盾および表彰状授与 3位 表彰状授与 4位 表彰状授与 (2) 本大会においてフェアプレー精神の育成・向上のため、フェアプレー賞を協会選考基準に従い選考し、授与する。フェアプレー賞はチーム単位とし、ベスト4に進出したチームの中から選考される。
14 組み合わせ	兵庫県高体連サッカー専門部の責任において代理抽選する。 前年度の本大会ベスト4の該当府県上位校をシードする。
15 その他	(1) 組み合わせ表等は、決定次第参加校に送付する。 (2) 各参加校には、顧問・監督各1名、選手30名、計32名分のプログラムを配布する。 (3) 選手番号は1~30までの通し番号とし、参加申込書と同じ番号とすること。選手番号はシャツの前後に付けること。なお、ショーツもつけることが望ましい。 (4) ユニフォームは正副2着を必ず携行すること。副のユニフォームは、シャツ、ショーツ、ソックスとも正のユニフォームと明確に区別された異色のものであること。また、シャツの色彩は審判員が通常着用する黒色と明確に判別し得るものでなければならない。 (5) チームキヤプテンは、アームバンドを着用しなければならない。 (6) エントリーは30名以内とする。(申込期限以降の変更是認めない。) (7) ベンチの位置は、会場本部からグラウンドを見て、組み合わせ番号の若いチームが左側を使用する。 (8) 大会使用球は、大会本部が用意する。 ミカサ「アルムンド(FT550D-BLBS)」 モルテン「ヴァンタッジオ(F5N4900)」 (9) 天候その他の不測の事態が発生した場合は、近畿高体連サッカー専門部委員長会議でその対応を決定する。